

2014年度第1四半期
決算説明資料

2014年8月1日
旭化成株式会社

1. 2014年度第1四半期実績

主要決算数値	P4
連結損益計算書	P5
連結貸借対照表	P6
連結キャッシュ・フロー計算書	P7
新セグメント別売上高・営業利益	P8
事業別売上高・営業利益	P9～10

2. 2014年度上期予想

2014年度上期の業績予想	P12
事業別売上高予想	P13
事業別営業利益予想	P14
新セグメント別売上高・営業利益予想	P15

3. 参考資料

事業別業績推移	P17～18
特別損益	P19
連結包括利益計算書	P20
事業別概況	P21～30

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1. 2014年度第1四半期実績

主要決算数値

AsahiKASEI

(億円)

	13年度*1		14年度		1Q実績比較 (対前年同期)	
	1Q	上期	1Q	上期 予想*2	増減額	増減率
売上高	4,300	9,190	4,471	9,730	172	4.0%
営業利益	283	742	266	670	-17	-5.9%
経常利益	275	728	273	670	-1	-0.5%
四半期純利益	196	466	170	390	-26	-13.3%

*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期および上期の金額を遡及修正している。

*2 2014年5月時点の予想

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	65,500	64,700	69,900	70,000
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	99	99	102	100

	14/3月末	14/6月末	増減
総資産	19,151	19,012	-139
自己資本	9,127	9,079	-48
有利子負債残高	3,039	3,153	114
D/Eレシオ	0.33	0.35	0.01

連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	13年度1Q*1	14年度1Q	増減	増減率
売上高	100.0% 4,300	100.0% 4,471	172	4.0%
売上原価	72.9% 3,133	73.4% 3,284	150	4.8%
売上総利益	27.1% 1,166	26.6% 1,188	22	1.9%
販管費	20.5% 883	20.6% 922	38	4.3%
営業利益	6.6% 283	6.0% 266	(-17)	-5.9%
営業外損益 (内、金融収支)	-8 (5)	7 (8)	15 (3)	/
(内、持分法投資損益)	(-19)	(8)	(27)	
(内、為替差損益)	(7)	(-7)	(-15)	
経常利益	6.4% 275	6.1% 273	-1	-0.5%
特別損益	7	-10	-17	
税前利益	6.6% 282	5.9% 263	-19	-6.6%
法人税等	-84	-90	-7	
少数株主損益	-2	-3	-1	
四半期純利益	4.6% 196	3.8% 170	-26	-13.3%

*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の金額を遡及修正している。

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	14/3月末	14/6月末	増減		14/3月末	14/6月末	増減
流動資産	8,904	8,690	-214	負債	9,893	9,803	-90
現金及び預金	1,515	1,185	-330	流動負債	5,768	5,480	-287
受取手形及び売掛金	3,167	3,038	-129	固定負債	4,125	4,323	197
棚卸資産	3,285	3,525	240	純資産	9,258	9,208	-49
その他	937	941	4	株主資本	8,156	8,034	-122
固定資産	10,247	10,322	75	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,805	4,837	32	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	2,584	2,522	-62	利益剰余金	6,354	6,232	-122
投資その他の資産	2,857	2,963	105	自己株式	-26	-26	-0
				その他の包括利益累計額	971	1,045	74
				少数株主持分	131	130	-1
資産合計	19,151	19,012	-139	負債純資産合計	19,151	19,012	-139

連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	13年度1Q ^{*1}	14年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	184	-112
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-305	-180
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-121	-291
財務活動によるキャッシュ・フロー④	38	-11
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	12	-1
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-71	-303

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,040	1,431
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	5	1
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	974	1,129

*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の金額を遡及修正している。

新セグメント別^{*1}売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益		
	13年度1Q	14年度1Q	増減	13年度1Q ^{*2}	14年度1Q	増減
ケミカル・繊維	2,220	2,277	57	124	93	-31
住宅・建材	1,114	1,178	64	79	89	10
エレクトロニクス	365	358	-7	38	40	2
ヘルスケア	561	590	29	75	78	3
その他	40	69	29	4	4	0
消去又は全社	-	-	-	-37	-39	-2
合計	4,300	4,471	172	283	266	-17

*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の金額を遡及修正している。

事業別*1売上高・営業利益増減要因(1)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度1Q	14年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	1,931	1,969	37	28	16	26	-7	-
	営業利益	102	71	-31	-5			-	-42
繊維	売上高	288	309	20	10	6	2	5	-
	営業利益	22	22	0	0			-	-6
住宅	売上高	984	1,055	71	51	24	-	-4	-
	営業利益	66	84	18	17			-	-24
建材	売上高	131	123	-8	-9	1	-	-	-
	営業利益	13	9	-4	-0			-	-6
エレクトロニクス	売上高	365	358	-7	7	-14	7	-	-
	営業利益*2	38	40	2	-0			-	16

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の金額を遡及修正している。

事業別*1売上高・営業利益増減要因(2)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度1Q	14年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	383	357	-26	-16	-10	5	-	-
	営業利益	90	81	-8	-11			-	12
クリティカルケア	売上高	178	233	55	55	-7	1	6	-
	営業利益	-15	-3	12	41			-	-22
その他	売上高	40	69	29	29	-	-	-	-
	営業利益	4	4	0	3			-	-3
消去又は全社	営業損失	-37	-42	-5	-	-	-	-	-5
合計	売上高	4,300	4,471	172	155	17	41	0	-
	営業利益*2	283	266	-17	45			-	-79

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の金額を遡及修正している。

2. 2014年度上期予想

2014年度上期の業績予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度上期予想			増減 b-a	14年度上期 当初予想*2 c	増減 b-c
	上期*1 a	下期*1	計	1Q	2Q 予想	計 b			
売上高	9,190	9,788	18,978	4,471	5,289	9,760	570	9,730	30
営業利益	742	691	1,433	266	404	670	-72	670	-
経常利益	728	701	1,429	273	397	670	-58	670	-
当期純利益	466	547	1,013	170	245	415	-51	390	25

*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期および下期の金額を遡及修正している。

*2 2014年5月時点の予想

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	64,700	69,900	67,300	69,900	72,200	71,050	6,350	70,000	1,050
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	99	102	100	102	101	102	3	100	2

	13年度	14年度上期 (予定)
1株当たり配当金	17円	8円

事業別*1売上高予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度			増減 b-a	14年度上期 当初予想*2 c	増減 b-c	(参考) 14年度 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
ケミカル	1,931	2,039	3,970	1,969	2,201	4,170	200	4,140	30	233
繊維	288	310	598	309	321	630	32	620	10	13
住宅	984	1,400	2,384	1,055	1,515	2,570	186	2,570	-	460
建材	131	147	278	123	157	280	2	300	-20	34
エレクトロニクス	365	382	747	358	392	750	3	760	-10	35
医薬・医療	383	375	758	357	403	760	2	760	-	46
クリティカルケア	178	198	375	233	247	480	105	460	20	15
その他	40	40	80	69	51	120	40	120	-	-17
合計	4,300	4,890	9,190	4,471	5,289	9,760	570	9,730	30	817

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 2014年5月時点の予想

事業別*1 営業利益予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度*2			14年度			増減 b-a	14年度上期 当初予想*3 c	増減 b-c	(参考) 14年度 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
ケミカル	102	130	232	71	144	215	-17	225	-10	74
繊維	22	22	44	22	18	40	-4	40	-	-4
住宅	66	199	265	84	181	265	-0	260	5	97
建材	13	17	31	9	11	20	-11	25	-5	2
エレクトロニクス	38	55	93	40	35	75	-18	70	5	-5
医薬・医療	90	74	164	81	49	130	-34	130	-	-33
クリティカルケア	-15	-5	-20	-3	3	0	20	-5	5	6
その他	4	4	8	4	1	5	-3	5	-	-4
消去又は全社	-37	-36	-73	-42	-38	-80	-7	-80	-	4
合計	283	459	742	266	404	670	-72	670	-	137

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期、第2四半期および上期の金額を遡及修正している。

*3 2014年5月時点の予想

新セグメント別*1売上高・営業利益予想

<売上高>

(億円)

	13年度		14年度		1Q 実績比較	上期比較 b-a
	1Q	上期 a	1Q	上期 今回予想 b		
ケミカル・繊維	2,220	4,568	2,277	4,800	57	232
住宅・建材	1,114	2,662	1,178	2,850	64	188
エレクトロニクス	365	747	358	750	-7	3
ヘルスケア	561	1,133	590	1,240	29	107
その他	40	80	69	120	29	40
合計	4,300	9,190	4,471	9,760	172	570

<営業利益>

(億円)

	13年度*2		14年度		1Q 実績比較	上期比較 b-a
	1Q	上期 a	1Q	上期 今回予想 b		
ケミカル・繊維	124	276	93	255	-31	-21
住宅・建材	79	296	89	285	10	-11
エレクトロニクス	38	93	40	75	2	-18
ヘルスケア	75	143	78	130	3	-13
その他	4	8	4	5	0	-3
消去又は全社	-37	-73	-39	-80	-2	-7
合計	283	742	266	670	-17	-72

*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期および上期の金額を遡及修正している。

3. 参考資料

事業別*1売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	12年度				13年度				14年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	1,611	1,713	1,690	1,832	1,931	2,039	2,014	1,932	1,969	2,201
繊維	263	276	275	283	288	310	301	310	309	321
住宅	863	1,267	1,174	1,557	984	1,400	1,218	1,742	1,055	1,515
建材	115	132	144	123	131	147	150	122	123	157
エレクトロニクス	340	330	332	310	365	382	366	337	358	392
医薬・医療	324	324	361	326	383	375	412	356	357	403
クリティカルケア*2	91	138	133	160	178	198	201	222	233	247
その他	44	45	42	50	40	40	45	60	69	51
合 計	3,650	4,225	4,151	4,640	4,300	4,890	4,707	5,081	4,471	5,289

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

事業別^{*1}営業損益推移

AsahiKASEI

(億円)

	12年度				13年度				14年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q ^{*2}	2Q ^{*2}	3Q ^{*2}	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	43	102	29	55	102	130	100	57	71	144
繊維	6	11	13	10	22	22	23	18	22	18
住宅	36	152	130	225	66	199	122	242	84	181
建材	5	11	17	7	13	17	20	5	9	11
エレクトロニクス	-4	4	14	14	38	55	36	14	40	35
医薬・医療	47	28	70	15	90	74	100	39	81	49
クリティカルケア ^{*3}	-5	-6	-12	-13	-15	-5	-7	-8	-3	3
その他	8	3	5	6	4	4	2	8	4	1
消去又は全社	-29	-30	-22	-23	-37	-36	-40	-40	-42	-38
合計	108	275	242	294	283	459	356	335	266	404

*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期、第2四半期および第3四半期の金額を遡及修正している。

*3 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

特別損益

AsahiKASEI

(億円)

	13年度1Q	14年度1Q	増減
投資有価証券売却益	0	-	-0
固定資産売却益	15	2	-12
特別利益	15	2	-13
投資有価証券売却損	-	1	1
投資有価証券評価損	-	5	5
固定資産処分損	5	5	0
事業構造改善費用	4	2	-2
特別損失	8	13	5
特別損益	7	-10	-17

連結包括利益計算書

AsahiKASEI

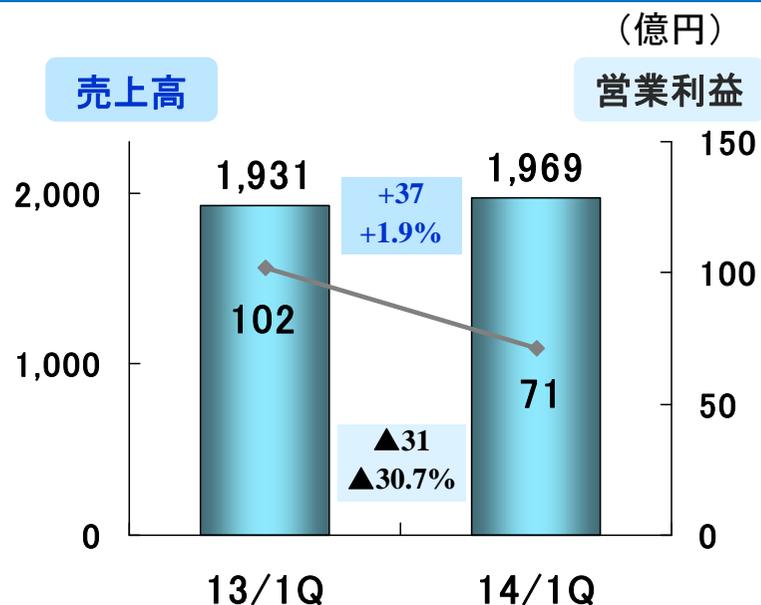
(億円)

	13年度1Q* ¹	14年度1Q	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	198	173	-25
その他有価証券評価差額金	68	86	18
繰延ヘッジ損益	2	0	-2
為替換算調整勘定	120	-20	-140
退職給付に係る調整額	-	9	9
持分法適用会社に対する持分相当額	4	-2	-6
その他の包括利益合計②	195	74	-121
四半期包括利益(①+②)	392	246	-146

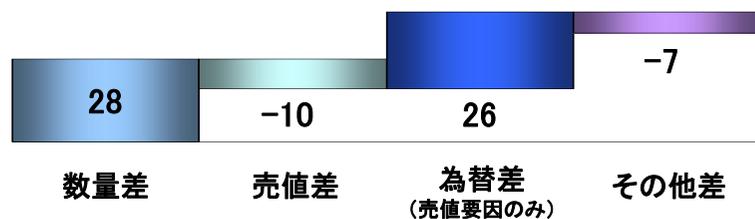
(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	389	244	-145
少数株主に係る四半期包括利益	3	2	-1

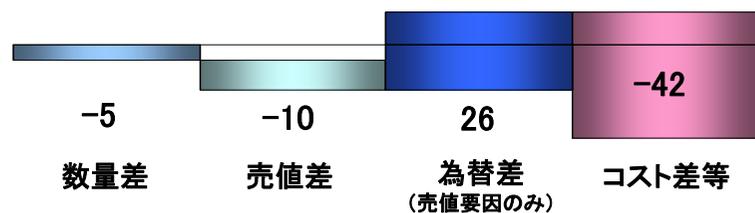
*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の金額を遡及修正している。



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

以下の状況により、前年同期比増収、減益となった。

・石油化学系事業・高機能ポリマー系事業

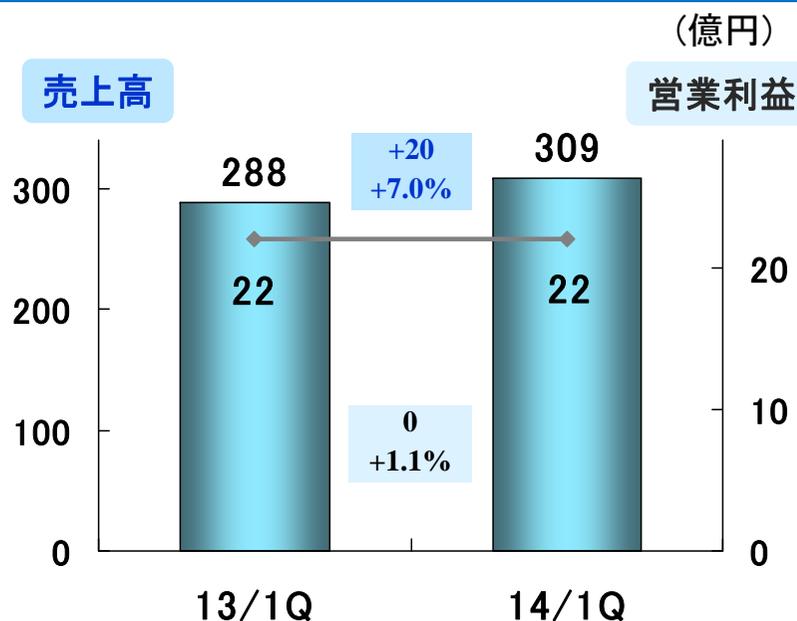
石油化学系事業は、アクリロニトリルの市況が改善したものの、プラントの定期修理の影響に加え、各製品において原燃料価格高騰の影響を受けた。また、高機能ポリマー系事業ではエンジニアリング樹脂や省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移したものの、合成ゴムのその他の用途で、海外市況悪化の影響を受けた。

・高付加価値系事業

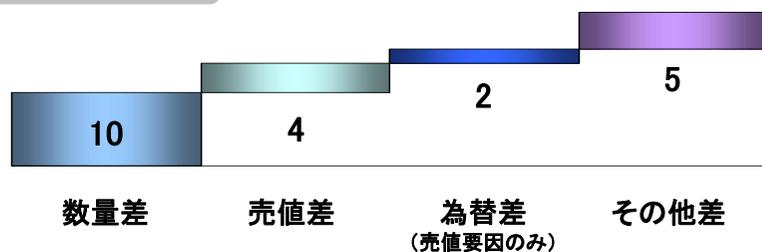
イオン交換膜の販売が堅調に推移したが、「サララップTM」を中心とした消費財製品の広告宣伝費が増加した。

<トピックス>

- ・米国において樹脂コンパウンドの第二工場を新設することを決定。(5月)
- ・複屈折ゼロを実現した光学用新規透明樹脂「AZPTM」を開発し、生産設備を新設することを決定。(6月)



売上高増減分析



営業利益増減分析

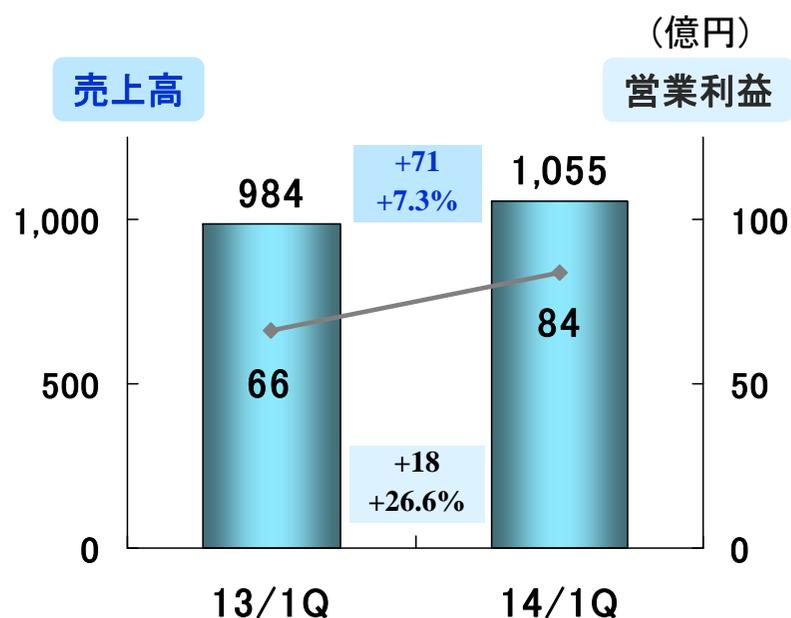


<概況>

ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」や、長繊維セルロース不織布「ベンリーゼ™」のフェイスマスク向けなどの販売が堅調に推移したものの、スパンボンド不織布やナイロン66繊維「レオナ™」でナフサなどの原燃料価格高騰の影響を受けたことに加え、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」の新製造設備の償却費が増加したことなどから、前年同期比増収、営業利益は前年同期並みとなった。

<トピックス>

- ・タイにおけるスパンボンド不織布製造設備の増設を決定。(5月)
- ・再生セルロース繊維(キュプラ繊維)「ベンベルグ™」の製造設備の増設が完了し、商業運転を開始。(6月)



事業別増減分析

(億円)

	13年度1Q		14年度1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	717	51	772	61	55	10
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	151		159		8	
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	112	15	118	23	6	7
その他住宅周辺事業等	3		6		2	
合計	984	66	1,055	84	71	18

<概況>

- ・建築請負部門において、前年度の好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウスTM」や集合住宅「ヘーベルメゾンTM」の引渡戸数が増加した。また、リフォーム部門で消費税増税前の駆け込み需要の反動により受注が減少したが、不動産部門において賃貸管理事業が順調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、前年度の受注水準が消費税増税前の駆け込み需要により高かったことを受け、今年度第1四半期は前年同期比11.3%の受注減となった。

<トピックス>

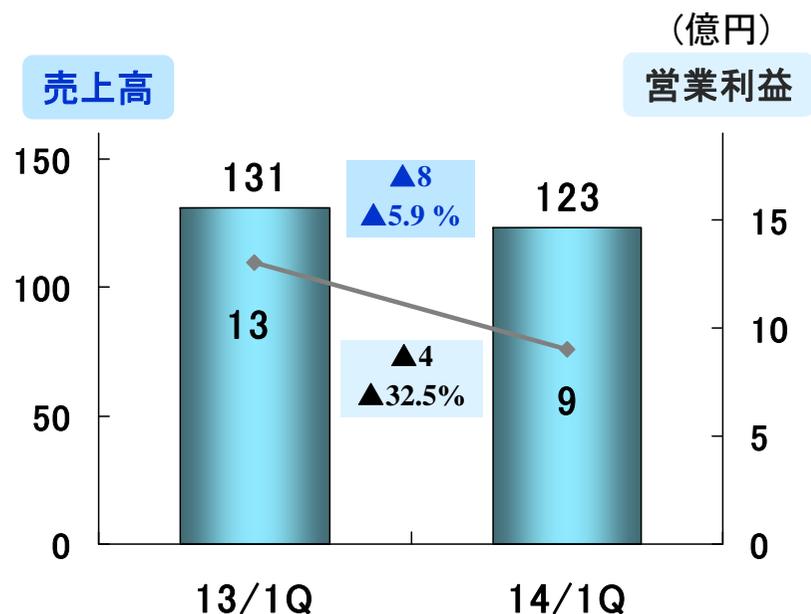
- ・重量鉄骨3階建て住宅「ヘーベルハウスTM FREX」に、新開発の震動の吸収性に優れたオイルダンパーを組み込んだ制震装置「サイレスTM」を標準採用。(5月)

住宅／売上高*1、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高				他	関係会社等	連結計	受注残
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)		11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634		
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)		15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595		
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)		25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)			
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)		15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030		
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)		465 (14.2%)		2,520 (6.9%)	3,918		
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)		887 (11.8%)		4,520 (10.4%)			
		請負受注高	建築請負部門売上高	不動産部門売上高				リフォーム部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	下期	2,049 (12.3%)	2,059	162	245	11	419	247	7	2,731 (8.4%)	4,446
	通期	4,124 (10.9%)	3,673	206	478	22	706	463	19	4,862 (7.6%)	
13	1Q	1,118 (10.8%)	717 (16.8%)	16	128	7	151	112	3	984 (14.0%)	4,864
	2Q	1,401 (31.5%)	1,093 (9.2%)	29	134	7	169	134	5	1,400 (10.5%)	5,199
	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14	1Q	992 (▲11.3%)	772 (7.7%)	9	144	6	159	118	6	1,055 (7.3%)	5,057
	2Q予	1,028 (▲26.6%)	1,121 (2.6%)	89	150	8	247	146	1	1,515 (8.2%)	4,998
	上期予	2,020 (▲19.8%)	1,893 (4.6%)	99	294	14	406	264	7	2,570 (7.8%)	

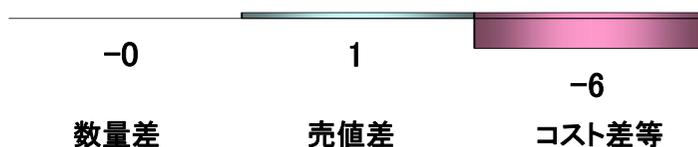
*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の方譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」が順調に販売量を伸ばしたが、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」において販売量が消費税増税前の駆け込み需要の反動で減少したことに加え、新製造設備の償却費が増加したことなどにより、前年同期比減収、減益となった。

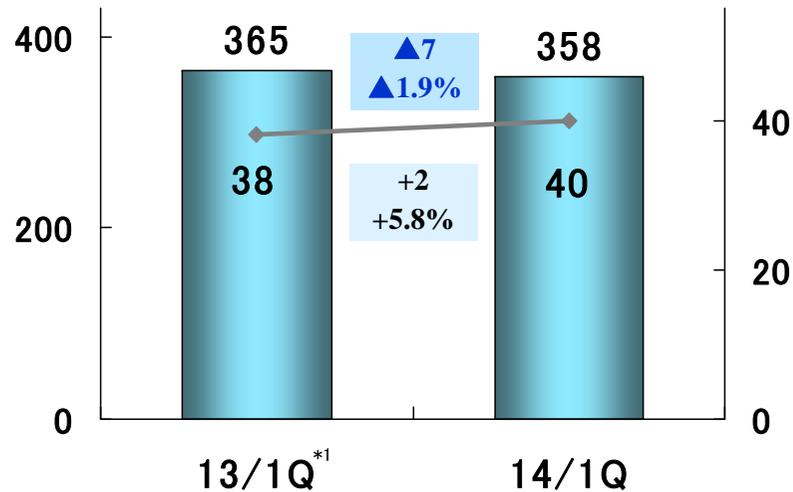
<トピックス>

- ・住みながらの施工が可能な断熱リフォーム専用ボード「ネオマ™断熱ボード」を発売。(6月)

(億円)

売上高

営業利益

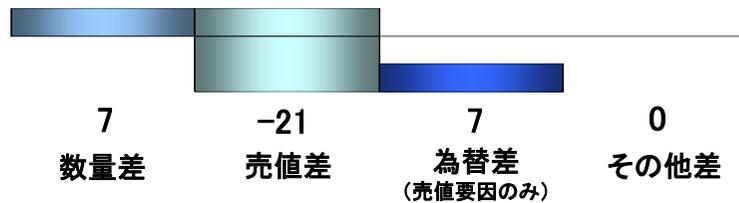


^{*1} 2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期の営業利益の金額を遡及修正している。

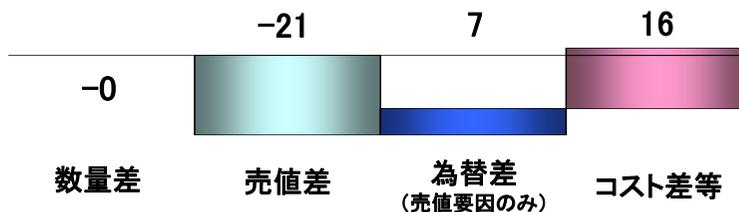
<概況>

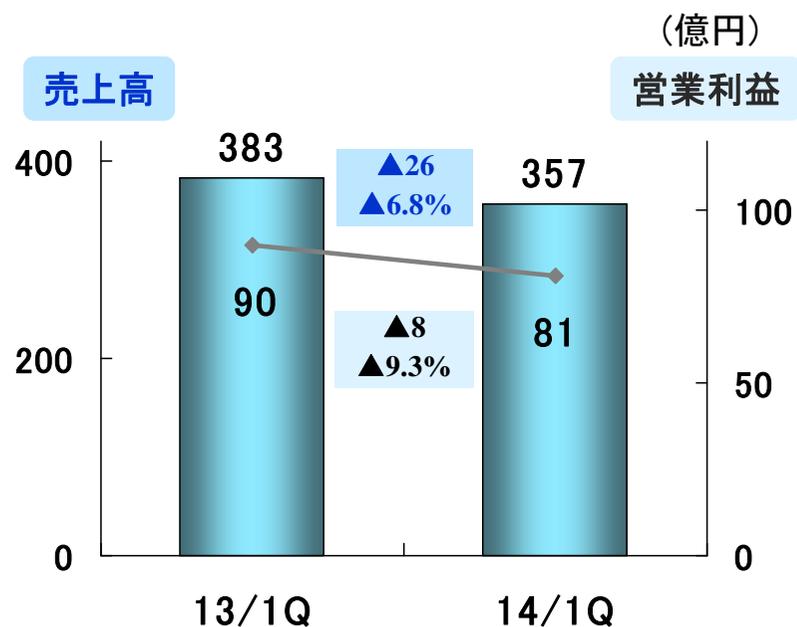
電子部品系事業は、スマートフォンなど携帯端末向けで電子コンパスや磁気センサなどの販売量が増加したものの、水晶発振器用ICの販売量が減少した。電子材料系事業では、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポアTM」を中心に販売価格が下落したものの、各製品における高機能領域の販売が順調に推移したことに加え、操業度が改善した。以上により、前年同期比減収、増益となった。

売上高増減分析

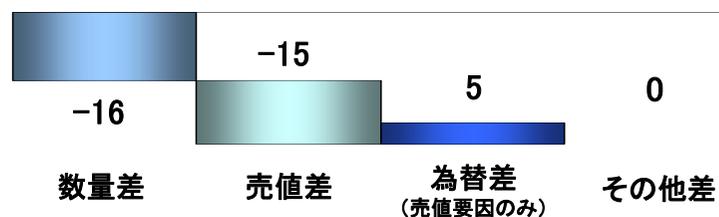


営業利益増減分析





売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

医薬事業は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により骨粗鬆症治療剤「テリボンTM」や血液凝固阻止剤「リコモジュリンTM」の販売量が減少したことに加え、その他の医薬品で薬価改定による価格下落の影響を受けた。また、医療事業は、透析関連製品やアフェシス(血液浄化療法)関連製品の販売が堅調に推移し、ウイルス除去フィルター「プラノバTM」の販売量が増加した。以上により、前年同期比減収、減益となった。

<トピックス>

- ・トロンボモジュリン製剤「リコモジュリンTM 点滴静注用12800」(一般名:トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))の原薬を製造する新棟を静岡県・富士市に建設することを決定。(5月)
- ・デュピュイトラン拘縮治療薬「ザイヤフレックスTM」について、国内での製造販売承認を申請。(7月)

医薬・医療／売上高内訳

(億円)

		13年度		14年度
		1Q	上期	1Q
医薬事業	国内医薬	209	408	180
	その他	12	33	11
	計	221	441	191
医療事業		163	317	166
医薬・医療 計		383	758	357

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	13年度		14年度
	1Q	上期	1Q
テリボン™	64	128	56
フリバス™	36	70	33
リコモジュリン™	28	59	25
エルシトニン™	22	43	16
ブレディニン™	17	32	14

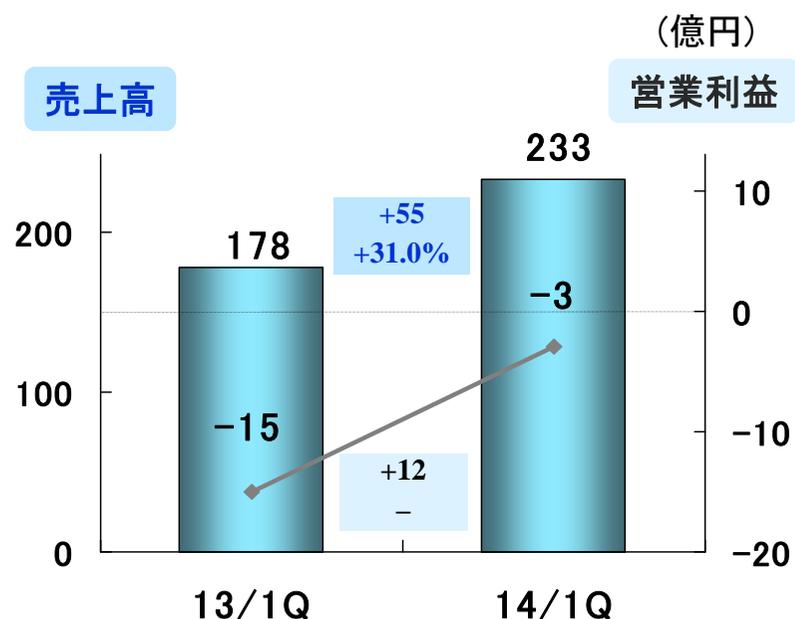
医薬／研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ 遺伝子組換え)	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

クリティカルケア概況



<概況>

営業活動強化に伴う販管費が増加したが、着用型自動除細動器「LifeVest(ライフベスト)™」の業績が引き続き順調に拡大し、その他の除細動器などの販売も堅調に推移したことから、増収、増益となった。

<トピックス>

- ・医療機関向け除細動器「R Series™」の日本国内での製造販売承認を取得。(6月)

<参考:クリティカルケアセグメント業績推移>

(億円)

	13年度				14年度	
	1Q	上期	下期	年間	1Q	上期
						予想
売上高(連結)	178	375	423	798	233	480
事業利益	18	46	49	95	29	62
のれん償却額	-17	-35	-36	-71	-18	-36
無形固定資産償却額等	-16	-31	-28	-59	-13	-26
償却額合計	-33	-66	-64	-130	-32	-62
営業利益(連結)	-15	-20	-15	-35	-3	0